

JAPANESE UTILITY MODEL

Registration Number: U3079559

Date of Registration: June 6, 2001

[The scope of a claim for utility model registration]

[Claim 1] In a front face, an electric power switch, a selection button, a door button, a security button, a telephone button, In a wall cabinet AV system for kitchens which a sound recording button is provided and contains in the inside a case body in which CPU which carries out multiple unit control of TV, AM, an FM tuner, an amplifier device and an image, a sound, a telephone call, and the switching function was built in, A wall cabinet AV system for kitchens with which a liquid crystal television monitor, wherein a liquid crystal television monitor is provided in the bottom of said case body is attached.

[Claim 2] The wall cabinet AV system for kitchens according to claim 1, wherein said liquid crystal television monitor is installed in right and left rotatable.

[Claim 3] A monitor storage slot where said liquid crystal television monitor was provided in a monitor holding part on the bottom of said case body removable, and said monitor holding part was ****(ed) by the depth in which said liquid crystal television monitor is built by a horizontal state, It is formed ahead of said monitor storage slot, and a fixed guide rail is formed in the side which carries out mutual opposite, comprise a fixed base isolated a mutual predetermined interval, and said television monitor, The wall cabinet AV system for kitchens according to claim 1 characterized by forming a guidance projected rim in both side surfaces so that it can insert into said fixed guide rail.

[Claim 4] The wall cabinet AV system for kitchens according to claim 3 which in a one side face of said monitor storage slot is characterized by forming an open face so that a drawer of a television monitor may be made.

[Claim 5] A fixed head in which a horizontally moving axis is provided inside a head case in which a fixed slot was formed in pars intermedia, and said television monitor is provided rotatable forward and backward, Middle coupling frame in which a vertical rotating shaft by which a rotation joint which an upper bed is provided in a horizontally moving axis of said fixed head rotatable, and a lower end rotates right and left was formed in a middle case inserted in fixed Mizouchi of said fixed head was built in, The wall cabinet AV system for kitchens according to claim 1 comprising a main part of a liquid crystal television fixed to a lower fixed end of a rotation joint of said vertical rotating shaft.

[Claim 6] A monitor holding part combined with said liquid crystal television monitor is formed in the bottom of said case body, The wall cabinet AV system for kitchens according to claim 1, wherein a **** type connecting pin protrudes on a terminal area connected with a liquid crystal television monitor of said monitor holding part rotatable and said connecting pin and a connecting pin connected are

formed in an upper bed of a liquid crystal television monitor corresponding to this.

[Claim 7]The wall cabinet AV system for kitchens according to claim 1, wherein a lock part combined with a lock projection of a lower end part of said liquid crystal television monitor is provided in a monitor holding part of the bottom of said case body.

[Claim 8]The monitor bodies 24 in which, as for said liquid crystal television monitor, LCD was stored, a hinge neck part (241) extended with predetermined length up was provided in the upper part, and said lock projection (23) was formed in a lower end, It is combined with said hinge neck part (241) of said monitor bodies (24), It is extended in a transverse direction from a right-and-left rotation neck part (252) by which a stop stage (251) was formed in a lower end part and by which lower part extension was carried out, and said right-and-left rotation neck part (252), Middle coupling frame (25) in which a rotation slot (253) consisted of a vertically and rotationally moving neck part (254) formed in both ends, A rotation projected rim (261) combined rotatable is provided in said rotation slot (253) of said middle coupling frame (25), It is fixed rotatable up and down and said middle coupling frame is fixed to a monitor holding part (11) of said case body (1), The wall cabinet AV system for kitchens according to claim 1, wherein said connecting pin (21) connected to said **** type connecting pin (121) comprises a connection body (26) formed in the upper part.

[Claim 9]The wall cabinet AV system for kitchens according to claim 1 making possible **** of said liquid crystal television monitor so that it may be fixed by a horizontal state which made it rotate back and approached the bottom of a case body, when being provided rotatable forward and backward, and not viewing and listening.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3079559号
(U3079559)

(45) 発行日 平成13年8月24日 (2001.8.24)

(24) 登録日 平成13年6月6日 (2001.6.6)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I
G 0 9 F 9/00	3 1 2	G 0 9 F 9/00 3 1 2
G 0 2 F 1/133	5 0 5	G 0 2 F 1/133 5 0 5

評価書の請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 実願2001-596 (U2001-596)
(22) 出願日 平成13年2月13日 (2001.2.13)

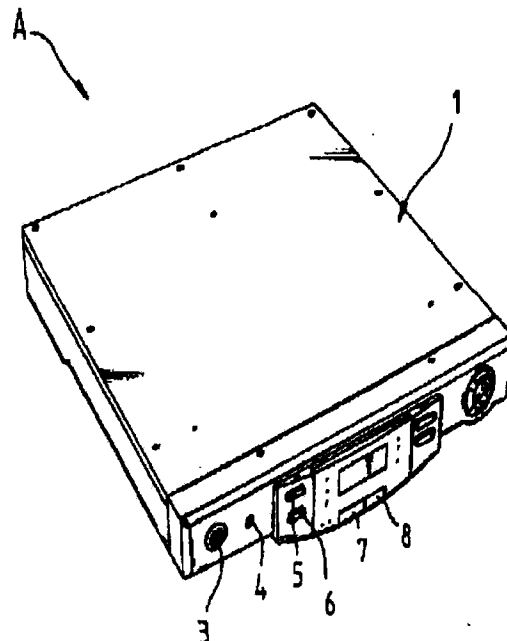
(73) 実用新案権者 501061283
ユウーサン ダン
大韓民国 キュンギード アンヤンーシテ
ィ トンアンーク ビョンチョンードン
898-2 チョオン アパートメント 207
-601
(72) 考案者 ユウーサン ダン
大韓民国 キュンギード アンヤンーシテ
ィ トンアンーク ビョンチョンードン
898-2 チョオン アパートメント 207
-601
(74) 代理人 100062225
弁理士 秋元 輝雄

(54) 【考案の名称】 液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚のAVシステム

(57) 【要約】

【課題】 構造を簡単にし設置及び操作を便利にして、厨房作業中にも選択的にテレビ又はCCTVなど所望の機能を利用することができ、使用しない場合、簡単に確かな折畳及びロックが可能である液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚AVシステムを提供することである。

【解決手段】 前面に電源スイッチ、選択ボタン、玄関ボタン、警備ボタン、電話ボタン、録音ボタンが設けられ、その内部にはTV、AM、FMチューナー、アンプ装置、及び映像、音声、通話、開閉機能を総括制御するCPUが内蔵され、前記ケース本体の底面には前記機能の映像を表示する液晶テレビモニターが折畳可能に設けられる。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項１】 前面に電源スイッチ、選択ボタン、玄関ボタン、警備ボタン、電話ボタン、録音ボタンが設けられ、その内部にはＴＶ、ＡＭ、ＦＭチューナー、アンプ装置、及び映像、音声、通話、開閉機能を総括制御するＣＰＵが内蔵されたケース本体を含む台所用吊戸棚ＡＶシステムにおいて、前記ケース本体の底面には液晶テレビモニターが設けられることを特徴とする液晶テレビモニターが取り付けられる台所用吊戸棚ＡＶシステム。

【請求項２】 前記液晶テレビモニターは左右に回動可能に設置されることを特徴とする請求項１記載の台所用吊戸棚ＡＶシステム。

【請求項３】 前記液晶テレビモニターは、前記ケース本体の底面上のモニター固定部に着脱可能に設けられ、前記モニター固定部は前記液晶テレビモニターが水平状態で内蔵される深さに削設されたモニター収納溝と、前記モニター収納溝の前方に形成され、相互対向する側面に固定案内溝が形成され、相互所定の間隔で離隔された固定基部とから構成され、前記テレビモニターは、前記固定案内溝内に挿入できるように、両側面に案内突条が形成されることを特徴とする請求項１記載の台所用吊戸棚ＡＶシステム。

【請求項４】 前記モニター収納溝の一側面は、テレビモニターの引出ができるように、開放面が形成されることを特徴とする請求項３記載の台所用吊戸棚ＡＶシステム。

【請求項５】 前記テレビモニターは、中間部に固定溝が形成されたヘッドケースの内部に水平回転軸が設けられ、前後に回動可能に設けられる固定ヘッドと、前記固定ヘッドの固定溝内に挿入される中間ケース内に、前記固定ヘッドの水平回転軸に上端が回動可能に設けられ、下端が左右に回動される回転関節が形成された垂直回転軸が内蔵された中間連結体と、前記垂直回転軸の回転関節の下部固定端に固定される液晶テレビ本体とから構成されることを特徴とする請求項１記載の台所用吊戸棚ＡＶシステム。

【請求項６】 前記ケース本体の底面には前記液晶テレビモニターと結合されるモニター固定部が形成され、前記モニター固定部の液晶テレビモニターと接続される接続部には弾支式接続ピンが回動可能に突設され、これに対応する液晶テレビモニターの上端には、前記接続ピンと接続される接続ピンが形成されることを特徴とする請求項１記載の台所用吊戸棚ＡＶシステム。

【請求項７】 前記ケース本体の底面のモニター固定部には、前記液晶テレビモニターの下端部のロック突起と結合されるロック部が設けられることを特徴とする請求項１記載の台所用吊戸棚ＡＶシステム。

【請求項８】 前記液晶テレビモニターは、ＬＣＤが収納され、上部に上方に所定長さで延長されるヒンジネック部（２４１）が設けられ、下端に前記ロック突起（２

３）が形成されたモニター本体２４と、前記モニター本体（２４）の前記ヒンジネック部（２４１）に結合され、下端部に係止段（２５１）が形成された下方延長された左右回転ネック部（２５２）と前記左右回転ネック部（２５２）から横方向に延長され、回転溝（２５３）が両端に形成された上下回転ネック部（２５４）とからなる中間連結体（２５）と、前記中間連結体（２５）の前記回転溝（２５３）に回動可能に結合される回転突条（２６１）が設けられ、前記中間連結体が上下に回動可能に固定され、前記ケース本体（１）のモニター固定部（１１）に固定され、前記弾支式接続ピン（１２１）に接続される前記接続ピン（２１）が上部に形成された接続体（２６）とから構成されることを特徴とする請求項１記載の台所用吊戸棚ＡＶシステム。

【請求項９】 前記液晶テレビモニターは前後に回動可能に設けられ、視聴しない場合、後方に回動させてケース本体の底面に近接した水平状態で固定されるように折畳可能にしたことを特徴とする請求項１記載の台所用吊戸棚ＡＶシステム。

【図面の簡単な説明】

【図１】 本考案の第１実施例によるシステムの斜視図である。

【図２】 図１のシステムの正面図である。

【図３】 図１のシステムのテレビモニターが除去された底面を示す斜視図である。

【図４】 図１のシステムの底面に着脱可能に取り付けられる液晶テレビモニターの斜視図である。

【図５】 テレビモニターがシステムの底面に取り付けられた状態を示す概略断面図である。

【図６】 図４のⅠ－Ⅰ線についてのテレビモニターの縦断面図である。

【図７】 本考案の第２実施例による液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚ＡＶシステムの概略縦断面図である。

【図８】 本考案の第２実施例によるＡＶシステムのケース本体の正面図である。

【図９】 本考案の第２実施例によるＡＶシステムのケース本体の底面斜視図である。

【図１０】 本考案の第２実施例による液晶テレビモニターの斜視図である。

【図１１】 図１０のⅠ－Ⅰ線についての本考案による液晶テレビモニターの縦断面図である。

【図１２】 図１１のⅠⅠ－ⅠⅠ線についての液晶テレビモニターの縦断面図である。

【図１３】 （ａ）は、本考案の第２実施例による液晶テレビモニターがケース本体に結合される前の状態を示す断面図であり、（ｂ）は、（ａ）の結合状態を示す断面図である。

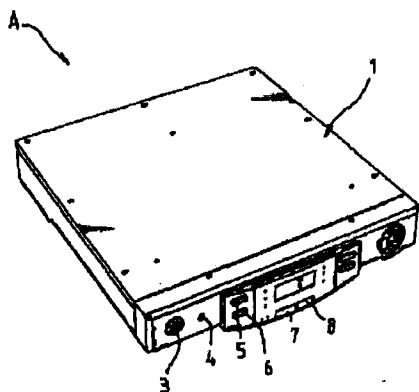
【図１４】 本考案の第２実施例によるロック部とロック突起の結合状態を示す概略断面図である。

【符号の説明】

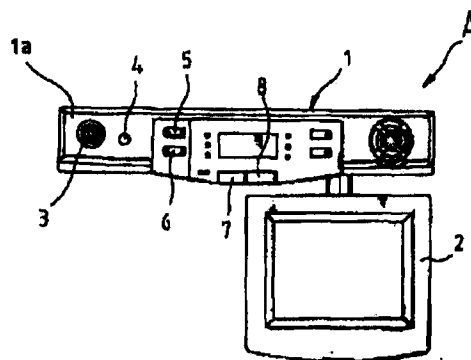
- 1 ケース本体
- 2 液晶テレビモニター
- 3 電源スイッチ
- 11 モニター固定部
- 12 モニター収納溝
- 13 固定案内溝
- 21 固定ヘッド

- 22 案内突条
- 23 固定溝
- 24 ヘッドケース
- 25 水平回転軸
- 26 中間連結体
- 27 水平回転軸
- 28 回転関節
- 30 モニター本体

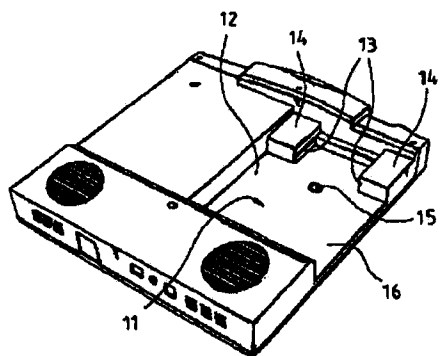
【図1】



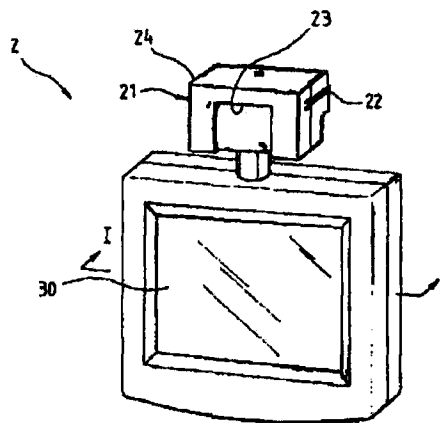
【図2】



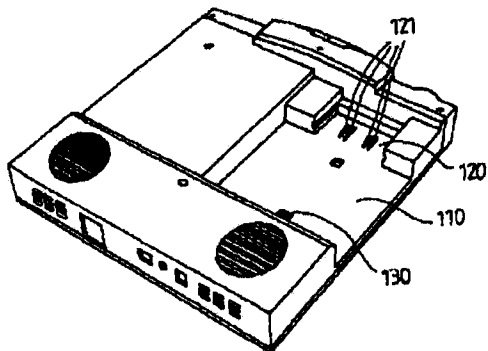
【図3】



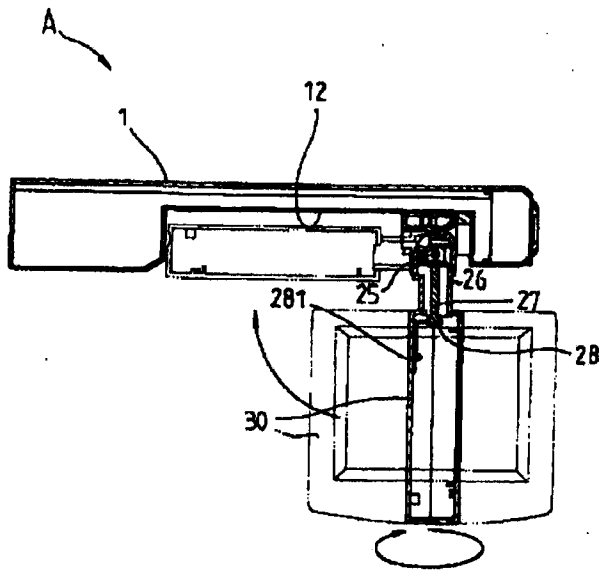
【図4】



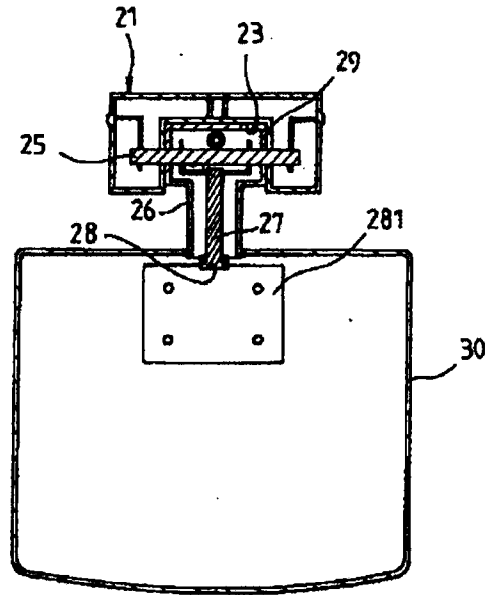
【図9】



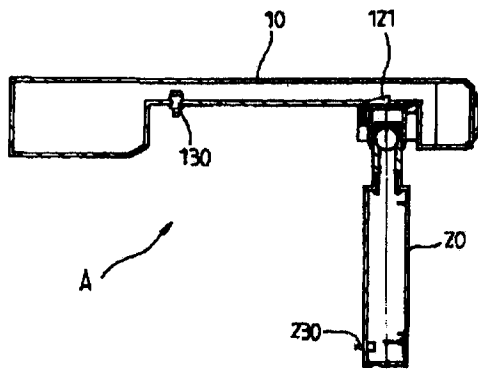
【図5】



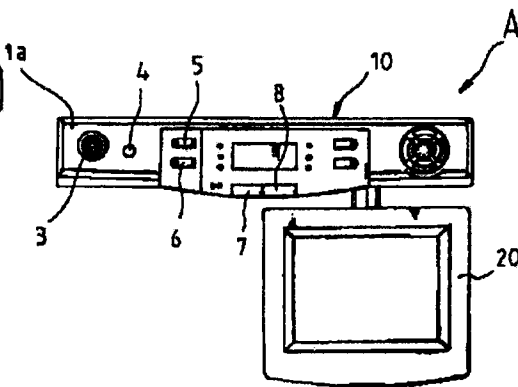
【図6】



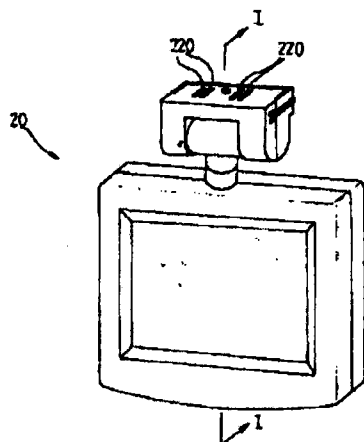
【図7】



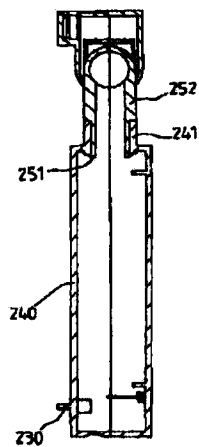
【図8】



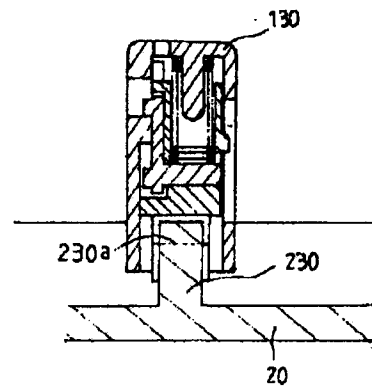
【図10】



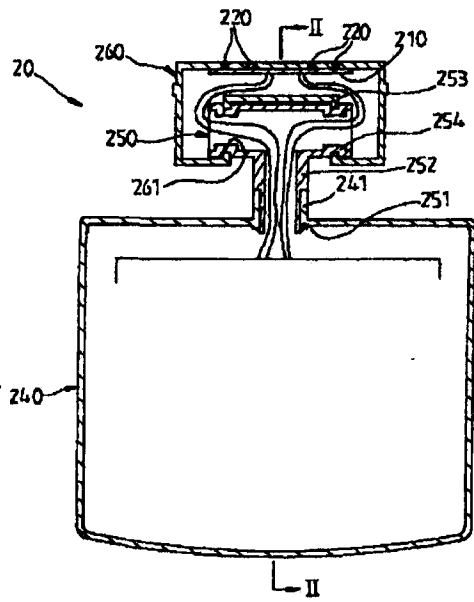
【図12】



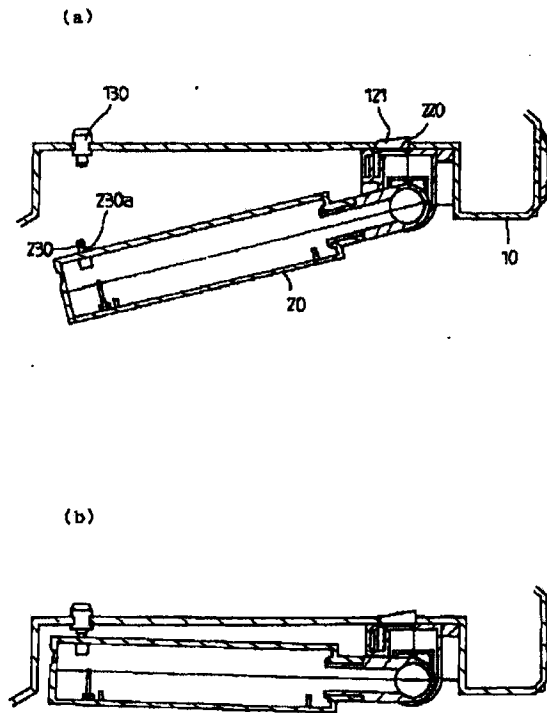
【図14】



【図11】



【図13】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案は台所の流し台の上方に設置される吊戸棚の下部に取り付けられ、テレビ信号を受信し得る液晶テレビモニターが下部に取り付けられた台所用吊戸棚のAVシステム(Audio and Video system)に関するもので、より詳しくは下部に液晶モニターがテレビ及びCCTVと連結可能に取り付けられることにより、厨房の仕事時にもTV視聴及びCCTV視聴が可能であり、液晶テレビモニターの上下左右回転構造が簡単になって製造及び組立が容易であり、液晶テレビモニターとケース本体の電気接続が単純になり、液晶テレビモニターの折畳時、液晶テレビモニターの下端部とケース本体がロックされることにより、液晶テレビモニターの垂れが防止される液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚のAVシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

一般に、社会生活が多忙になり、社会活動が活発になる現代人の家庭生活は料理、食事、対話など主要な家庭事が主として台所を中心になされており、特に家庭主婦は一日の殆どの時間を台所で暮らしている。したがって、家庭主婦の厨房に対する関心が高くなるにつれて台所用品に対する質的な向上が目覚ましくなされている。このような質的な向上は主に流し台、吊戸棚の材質、デザインなどの台所用家具の変化を中心になされているが、このような台所用家具に対する改善は殆ど完了されており、現在は厨房で音楽を聴取するかテレビを視聴し得るようになる方向への改善がなされている。このような家庭主婦の欲求を充足させるため、ラジオとオーディオが結合された音響機器が吊戸棚に取り付けられたものがあるが、吊戸棚に取り付けられる音響機器にはテレビが組み込まれていないため、テレビを視聴するためには、別の小型テレビを購入して別の場所に設置しなければならないので、購入費用が高くなり、設置作業が難しくなり、厨房の美観を損なうことはもちろんのこと、小型テレビが取り付けられると、テレビが下方に突出して主婦の家事活動中に頭がぶつかるか、又はほかの厨房用品とぶつかっ

て損傷されることが頻繁に発生する問題点があった。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

本考案はこのような問題点を解決するためのもので、厨房作業中にもテレビ及びＣＣＴＶの選択的な視聴ができる液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚ＡＶシステムを提供することにその目的がある。

【0004】

本考案のほかの目的は液晶テレビモニターとケース本体の電気接続が容易になって設置及び使用の便利である液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚ＡＶシステムを提供することにある。

【0005】

本考案の更にほかの目的は液晶テレビモニターのヒンジ構造が単純になって液晶テレビモニターの組立が容易であり、製造費が安くなる液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚ＡＶシステムを提供することにある。

【0006】

本考案の更にほかの目的は液晶テレビモニターの折畳時、液晶テレビモニターの下端部とケース本体のロックングがなされて液晶テレビモニターの垂れが防止され、保管及び使用が便利な液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚ＡＶシステムを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

前記のような本考案の目的は、ラジオ、電話、ＣＣＴＶ及びテレビの作動制御パネルを有し、台所用吊戸棚に取り付けられるケース本体と、前記ケース本体の底面に設けられる液晶テレビモニターとから構成される本考案による液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚ＡＶシステムにより達成される。

【0008】

【考案の実施の形態】

以下、本考案による液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚ＡＶシステムを添付図面に基づいて詳細に説明する。

【0009】

図1ないし図6は本考案の一実施例による液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚AVシステムを示すものである。

【0010】

本考案の第1実施例によるAVシステムAは、図示のように、前面1aに電源スイッチ3、選択ボタン4、玄関ボタン5、警備ボタン6、電話ボタン7、録音ボタン8などが設けられ、その内部にはTV、AM、FMチューナー、アンプ装置、及び映像、音声、通話、開閉機能を総括制御するCPUが内蔵されたケース本体1が設けられている。前記AVシステムAのケース本体1の底面には液晶テレビモニター2が収納されるモニター固定部11が設けられている。本実施例において、前記液晶テレビモニター2は着脱可能に設置されているが、ケース本体1の底面に固定して使用することもできる。

【0011】

前記モニター固定部11は、前記液晶テレビモニター2が水平状態で内蔵される深さに削設されたモニター収納溝12と、前記モニター収納溝12の前方に設けられ、互いに対向する内側面に固定案内溝13が形成され、互いに一定間隔を置き離隔されている固定基部14とから構成される。前記モニター収納溝12には電線が通過する引出孔15が形成され、モニター収納溝の一側面には、テレビモニター2を引き出すために開放された開放面16が形成されている。

【0012】

前記テレビモニター2は、両側面に前記固定案内溝13に挿入される案内突条22が設けられ、中間部に固定溝23が形成されたヘッドケース24の内部に水平回動軸25が設けられ、前後に回動可能に固定される固定ヘッド21と、前記固定ヘッド21の固定溝23内に挿入される中間ケース29内に前記固定ヘッド21の水平回動軸25の上端が回動可能に結合され、下端が左右に回動する回動関節28が設けられた垂直回動軸27が内蔵された中間連結体26と、前記垂直回動軸27の回動関節28の下部固定端281に固定されるモニター本体30とから構成される。

【0013】

前記電源スイッチ3は、システムの使用時、一度押すとONとなり、再度押すとOFFとなる。

【0014】

前記選択ボタン4はFM、AM、TV放送のいずれか1放送を選択し得るようにし、この際に前面に選択機能のLEDが点灯する。

【0015】

前記玄関ボタン5は、ラジオ又はテレビの視聴中、インターホンが鳴ると、自動に玄関と通話可能にすると同時に、テレビ画面に訪問者の確認のための玄関カメラの画面が表示され、玄関門を開ける場合にはもう一度玄関ボタンを押すと玄関門が開く。

【0016】

前記警備ボタン5は、警備室から各所帯と通話をしようとする場合、前面の警備LEDランプがONとなり、テレビ、ラジオの視聴中であっても自動に警備室と連結され、通話を望む場合には警備ボタンを押してから通話することができる。

。

【0017】

前記録音ボタン7は、電話通話中、電話内容を録音しようとするとき、録音ボタンを押すと録音され、録音されたものを確認するためにはもう一度押すと再生される。

【0018】

電話ボタン8は、ラジオ又はテレビの視聴中、電話ベルが鳴ると、自動に連結されるので、電話ボタンを押してから使用する。

【0019】

このような構成を有する本考案の一実施例によるAVシステムAは台所の流し台の上部に設置された吊戸棚の下部に取り付けられる。本考案のAVシステムが新築マンションの厨房の吊戸棚の下部に取り付けられる場合、テレビの設置を申し込まなかった所帯には液晶テレビモニター2抜きモニター固定部11が形成されたシステムを取り付け、テレビの設置を申し込んだ所帯には、液晶テレビモニター2の固定ヘッド21の案内突条22をケース本体1の底面に形成されたモ

ニター固定部 11 の固定案内溝 13 に挿入して両側固定基部 14 間に固定させ、テレビモニター 2 のケーブル（図示せず）を引出孔 15 を引き出してケース本体内の電源に接続させると、テレビモニター 2 の設置が簡単に完了されるものである。このように、テレビモニター 2 を挿入固定することで簡単にテレビを取り付けることができるので、設置作業が非常に行えるものである。また、テレビの設置を申し込まなかった所帯であっても、後にテレビの設置が必要であると、別の設備又は器具なしに簡単にテレビモニター 2 のみを既にモニター固定部 11 が形成されているケース本体 1 のモニター固定 11 に固定し、ケーブルを引出孔 15 を通じて引き出してケース本体 1 内の電源に接続させると、テレビの後設置も簡単に行えるものである。このように、ケース本体 1 に固定されたテレビモニター 2 を水平に収納固定すると、テレビモニター 2 は別途の空間を占有しなくてもモニター固定部 11 に収納、固定されるので、狭小な吊戸棚の下部空間を効率的に活用することができる。そして、テレビモニター 2 が水平方向に固定された状態でテレビを視聴しようとする場合、ケース本体 1 のモニター固定部 11 の一側面に形成された開放面 16 を通じて外部に露出されるテレビモニター 2 を前方に引き付けると、テレビモニター 2 は固定ヘッド 21 に設置された水平回転軸 25 を中心に前方に回転されるので、テレビモニターを適切な位置に停止させ、モニター本体 30 を左右に回転させて、所望の視聴位置に固定させると、テレビを最適な視聴位置で視聴することができる。このように、本考案では、液晶テレビモニター本体を前後左右に回転させて適正位置に容易に固定することができるので、液晶テレビモニターが適正位置に配置されない場合、反射光の反射によりテレビの視聴ができなくなる問題点を解決することになったことも本考案の重要な特徴であるといえる。

【0020】

一方、テレビを視聴しているうち、電話がかかってくると電話機が自動に本システムに連結されるので、電話ボタン 8 を押してから通話することができ、通話内容を録音しようとする場合は、録音ボタン 7 を押して録音することになる。そして、視聴中にインターホンが鳴ると自動に玄関と通話可能になると同時にテレビの画面に玄関カメラにより取られた訪問者の映像が表示される。また、視聴し

ているテレビをOFFしてから家事をしようとする場合は、テレビモニター2を後方に押すと、テレビモニター2は水平回転軸25を中心に後方に回転してモニター固定部11内に収納されるので、テレビモニターを別途の占有空間なしに収納することができ、これにより、テレビが邪魔とならず、その分広い可用空間を確保することができる。

【0021】

図7ないし図14は本考案の第2実施例による液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚AVシステムを示すものである。

【0022】

本考案の第2実施例による液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚AVシステムAは、図示のように、前面1aに電源スイッチ3、選択ボタン4、玄関ボタン5、警備ボタン6、電話ボタン7、録音ボタン8などが設けられ、その内部にはTV、AM、FMチューナー、アンプ装置、及び映像、音声、通話、開閉機能を総括制御するCPUが内蔵されたケース本体10が含まれ、前記ケース本体10の底面には液晶テレビモニター20が着脱可能に設置されるモニター固定部110が設けられたことは第1実施例と同じである。

【0023】

前記モニター固定部110は、第1実施例に記述したモニター収納溝12と、固定案内溝13及び固定基部14が設けられたものは同一であるのでその説明は省略する。前記モニター固定部110の固定基部間の、液晶テレビモニター20と接続される接続部120には、前記CPU（図示せず）に接続されている弾支式接続ピン121が回転可能に突設されている。前記モニター固定部110の液晶テレビモニター20の下端部が接触する一端部には、ワンタッチでロック又は解除されるロック部130が設けられている。前記ロック部130はTV、エアコン、又はドアなどの作動部を覆うカバーをワンタッチで一度押すとロックされ、もう一度押すと開くロック装置で、このような構造のロック装置は韓国実用新案公開番号第88-19869号及び韓国実用新案出願番号第95-32205号に詳細に開示されているので、その詳細な説明は省略する。

【0024】

前記液晶テレビモニター２２０の上端部には、内設された基板２１０に接続され、前記モニター固定部１１０の接続ピン１２１に対応して接続される接続ピン２２０が形成され、下端部には、前記ケース本体１０の底面に形成されたロック部１３０と結合されるロック突起２３０が設けられている。前記ロック突起２３０はロック部１３０に結合されるように結合突部２３０ａが形成されている。

【００２５】

前記液晶テレビモニター２０は、ＬＣＤが収納され、上部に上方に所定長さだけ延長されるヒンジネック部２４１が設けられ、下端に前記ロック突起２３０が形成されたモニター本体２４０と、前記モニター本体２４０の前記ヒンジネック部２４１に挿合され、下端に係止段２５１が形成された左右回動ネック部２５２と前記左右回動ネック部２５２から横方向に延長され、回動溝２５３が両端に形成された上下回動ネック部２５４とからなった中間連結体２５０と、前記中間連結体２５０の前記回動溝２５３に回動可能に結合される回動突条２６１が形成されることにより、前記中間連結体が上下に回動可能に結合され、前記ケース本体１０のモニター固定部１１０に固定され、前記弾支式接続ピン１２１に接続される前記接続ピン２２０が上部に形成された接続体２６０とから構成される。

【００２６】

前記モニター本体２４０のＬＣＤ（図示せず）から延長された導線はヒンジネック部２４１の通孔及び中間連結体２５の通孔を通じて、接続ピン２２０が接続された基板２１０に接続される。

【００２７】

前記モニター本体２４０は中間連結体２５０の左右回動ネック部２５２と結合されたヒンジネック部２４１により左右回動可能になり、中間連結体２５０の上下回動ネック部２５４に上下回動可能に結合された接続体２６０により上下回動可能になり、前記各モニター本体２４０、中間連結体２５０、接続体２６０は射出成形により製造されるので、製造が容易であり、組立構造も簡単になる。

【００２８】

このような構造を有する本考案の第２実施例による台所用吊戸棚ＡＶシステムＡは、ケース本体１０への液晶テレビモニター２０の接続に際して、ただモニタ

一固定部１１０の接続部１２０の接続ピン１２１に、液晶テレビモニター２０の上端部に形成された接続ピン２２０が即時接続されるので、液晶テレビモニター２０のケース本体１０への接続が非常に容易であり、設置人力が節減され、設置費が節減される。また、このように、ケース本体１０に液晶テレビモニター２０が接続された状態ではＴＶ又はＣＣＴＶの視聴が可能になり、液晶テレビモニター２０の折畳に際して、液晶テレビモニター２０を水平状態に押すと、モニター本体２４０の下部のロック突起２３０がケース本体１０の底面に設けられたロック部１３０に挿入されてロックされるので、液晶テレビモニター２０の下端部の垂れが防止される。このように、水平に液晶テレビモニター２０が収納された状態でロック状態を解除しようとする場合、液晶テレビモニター２０の下端部を押すと、ロック部１３０のロック状態が解除され、液晶テレビモニター２０が引き出されて視聴可能になるものである。

【００２９】

このように、本考案による液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚ＡＶシステムは、厨房の仕事中でもＴＶ又はＣＣＴＶの選択的な視聴が可能になるので、主婦が長い時間を厨房で効果的に活用することができる。また、本考案の液晶テレビモニターは各モニター本体２４０、中間連結体２５０及び接続体２６０が射出成形され、ヒンジで連結される構造に製造されるので、製造及び組立が非常に容易になり、製造費が低くなり、製造時間が大幅短縮され、中空構造を有する中間連結体の中空部を、ＬＣＤに連結された導線が通過して接続ピン２２０の形成された基板上に接続されるので、導線の処理空間が自動的に確保されるなど構造的な面で向上された。

【００３０】

【考案の効果】

以上説明したように、本考案による液晶テレビモニターが取り付けられた台所用吊戸棚ＡＶシステムは、液晶テレビモニターがケース本体の底面に取り付けられるので、厨房作業の際に、ＴＶ又はＣＣＴＶを選択的に視聴し得るようになって主婦の効果的な時間活用が可能であり、厨房の可用空間の確保が容易である。また、液晶テレビモニターとケース本体の接続連結が液晶テレビモニターの設置

により自動になされるので、液晶テレビモニターの設置が非常に容易になり、また、液晶テレビモニターの水平方向への収納に際して、下端部がロック状態となるので、液晶テレビモニターの垂れが防止される。また、液晶テレビモニターは、各モニター本体、中間連結体、及び接続体が射出成形され、ヒンジ連結構造に製造されるので、製造及び組立が非常に容易になって製造費が低廉になり、製造時間が大幅短縮され、中空構造を有する中間連結体の中空部を、LCDに連結された導線が通過して接続ピンの形成された基板上に接続されるので、導線の処理空間が自動に確保されるなど構造的な面で向上される。